

RESEARCH BULLETIN OF
EDUCATIONAL ORGANIZATION

No. 9

July 2014

CONTENTS

Research Papers

Haiyu HUANG: Current State and Issues of Information Disclosure by Institutions of Higher Education in China: Focusing on Financial Information Disclosure

Ryosuke TANABE: A study on Legal Infrastructure for Teachers' Freedom of Education in Spain: Focusing on "Ley Orgánica 2/2006, de 3 de mayo, de Educación (LOE)"

Yu MATSUBARA: A Research about Treatment of "Right to Learn" in Judicial Precedents: Focusing on Learner's Freedom of Learning

Mari ARAKAWA: Current Situation of Education Reform through the Intercantonal Agreement (HarmoS Agreement) in the Swiss Confederation: A Pending Case in Canton Obwalden

Translation and Bibliography

Hodaka FUJII: French High Council for Education's Report "Implementation of Common Core" (2011): Its Translation and Bibliography

Commentary on Current Events

Mari ARAKAWA: "Stroller Friendly" Symbol in Japan: in Comparative Perspectives with Germany, Austria and Ecuador

Doctor Thesis Abstract

Masumi HOSHINO: A Study of the Legislative and Development Processes of the Class Size Reduction Program in California, U.S.A.

Master Thesis Abstract

Chunlei SUN: Study on the System of Teachers' Personnel Reassignment in China: Focusing on System Reform in Shenyang

Graduate Thesis Abstracts

Naoki OYAMA: Consideration of the Significance of Work Experience as a Part of the School Curriculum

Yuta ORIHARA: Current Situation and Problems of the After-school Tutorial Project in Tsukuba

Published by

The Research Division of Educational Organization, Institute of Education
UNIVERSITY OF TSUKUBA

教育制度研究紀要

第9号

二〇一四年七月

筑波大学教育制度研究室

教育制度研究紀要

第 9 号

2014年7月

筑波大学教育制度研究室

『教育制度研究紀要』第9号刊行にあたって

教育制度研究紀要の第9号を刊行しましたので、お届けします。

本号は、自由研究論文4本、翻訳と解題、時事評論、博士論文、修士論文、卒業論文の各報告と研究会の活動報告を掲載しています。いずれも研究会に参加している教員、院生、学群学生がそれぞれの研究テーマに沿って取り組んできた研究の成果の一部を発表し、しかも申請提出された論文等を互いに批判・検討したうえで掲載を決定してきました。本号も、わが国の学習権論の他に、中国、スペイン、スイス、フランスと国際色豊かな論考と翻訳が並んでいます。

このところ、院生の研究テーマを見ると、本研究室のみならず、学習者の自由や自律性、教員の教育の自由や学校の自律性など、広い意味での「自由」が取り上げられることが多い気がします。私の担当している大学院の演習でも本年度は教員の自律性をテーマに文献を読んでいます。欧米に比べると、わが国の教員の自由や自律性はどうしてもこんなに制約されているのかと改めて驚かされます。だからわが国の子どもの学力が高いのだと言われるのかもしれませんが、教育と自由というテーマはもう少し原理的に掘り下げるべき重要な問題をはらんでいるようにも思えます。

本研究室では、星野真澄さんが博士号を取得し、本年度から本学の特任助教として着任されました。黄海玉さんも短期大学基準協会に研究員として採用されました。孫春蕾さんも修士号を取得し無事に修了されました。研究室としては寂しくなりましたが、院生の巣立ちを慶びたいと思います。

なお、昨年度より、清水一彦先生が本学の副学長職に専念されたため、教育制度研究室を離れ、後任として藤井が着任いたしました。諸先輩が築き上げ、清水先生が継承・発展されてきた研究室の伝統と実績を守りながら、研究室一同さらに一層邁進していきたいと考えています。皆様の忌憚のないご批判やご指導をお願いしたいと存じます。

最後になりましたが、今回の紀要も、荒川麻里先生の強力なリーダーシップの下、ようやく完成に漕ぎ付けました。記して感謝申し上げます。

2014年7月1日

藤井穂高

目 次

『教育制度研究紀要』第9号刊行にあたって	藤井 穂高	
自由研究論文		
中国における高等教育機関の情報公開状況の現状と課題 —財務情報の公開状況に着目して—	黄 海玉	1
スペインにおける「教師の教育上の自由」の法的基盤に関する研究 —教育に関する組織法（LOE）を中心に—	田邊 良祐	13
判例における「学習権」の取り扱いに関する研究 —学習者の学習の自由に着目して—	松原 悠	23
スイス連邦における憲法教育条項の改正と州間協定の現状 —オプヴァルデン準州における態度保留理由に着目して—	荒川 麻里	55
翻訳と解題		
フランスの教育高等審議会報告書 「共通基礎（socle commun）の実施」（2011年）：翻訳と解題	藤井 穂高	67
時事評論		
国土交通省のベビーカーマーク公表をめぐって —ドイツ、オーストリア、エクアドルの子育て環境との比較から—	荒川 麻里	83
博士論文報告		
米国カリフォルニア州における学級規模縮小プログラムの 成立・展開過程の研究	星野 真澄	87
修士論文報告		
中国における教員人事異動制度に関する研究 —瀋陽市の制度改革を中心に—	孫 春蕾	105
卒業論文報告		
職場体験活動の意義の考察 —制度的な位置づけに着目して—	大山 直紀	109
つくば市放課後学習チューター事業の現状と課題	織原 裕太	113
研究会活動報告		117

<執筆者一覧・掲載順>

- 藤井 穂高 (ふじい ほだか・筑波大学人間系 教授)
- 黄 海玉 (こう かいぎょく・一般財団法人短期大学基準協会 研究員／
筑波大学大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻 後期3年)
- 田邊 良祐 (たなべ りょうすけ・筑波大学大学院人間総合科学研究科
教育基礎学専攻 後期2年)
- 松原 悠 (まつばら ゆう・筑波大学大学院人間総合科学研究科教育学専攻 前期2年)
- 荒川 麻里 (あらかわ まり・筑波大学人間系 助教)
- 星野 真澄 (ほしの ますみ・筑波大学大学院人間総合科学研究科
教育基礎学専攻 後期3年) ※
- 孫 春蕾 (そん しゅんらい・筑波大学大学院人間総合科学研究科教育学専攻 前期2年) ※
- 大山 直紀 (おおやま なおき・筑波大学人間学群 教育学類 4年) ※
- 織原 裕太 (おりはら ゆうた・筑波大学人間学群 教育学類 4年) ※

*印： 修了論文報告執筆者については、2014年3月時点の所属を記した

教育制度研究紀要 第9号

2014年7月 印刷

2014年7月 発行

発行 筑波大学教育制度研究室
つくば市天王台 1-1-1
筑波大学人間系教育学域

印刷所 前田印刷株式会社 筑波支店
つくば市山中 152-4
Tel: 029-875-6696 (代)